

栗山町まちづくり懇談会 議事録

日時：令和4年10月23日（日）18：30～19：58

場所：鳩山中央公民館

出席者：7人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 第7次総合計画の策定について

(2) 自由懇談

4. その他

○空き家相談窓口チラシ参照

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：コロナの感染者が増えているとのことで、ワクチン接種後のケアについて聞きたい。

ワクチンを打つと体調が悪くなる。この歳で高熱になると1週間はダウンする。脱水症状にもなりかけた。後遺症なども考慮して今後も打つつもりだが、毎回体調が悪くなるのでワクチンへの恐怖感もある。接種を強制ではなくもう少し配慮いただきたい。

総務課長：副反応については個人差があるので、一律の対応というのは難しい。薬局で解熱剤など購入してもらって飲んでいただくしかない。

町民：副反応がひどい人は3日から一週間ほど休むこともあると聞く。そうすると他のお仕事のスタッフのやりくりが大変なので、若い方の接種率が上がらないということにもなっている。

町長：仰るとおり、ワクチンの副反応は個人差があるが体調を崩される方が多い。副反応が起きた方へのフォローを行いたいのはやまやまだが、接種数が多くそこまで手が回らないというのが正直なところである。

町民：畑地帯の基盤整備というのは具体的にどのようなことをするのか。

建設課長：栗山の場合、平地には田畑があつて、山地には畑が相当数ある。国の整備事業を

使って畑地帯の整備を行う。施設の老朽化などもあり畑地帯の整備をしてほしいという要望がある。水田の基盤整備と同様に、畑地帯の総合整備事業を国の費用を使って行っていく。

町民：畑、農業は収益性が決してよくないと思われる。率で5%10%負担と言われても、やはり事業費が大きくなれば農家の負担が増える。そこは率ではなく定額1万円にするなど考慮してほしい。

町長：農業施設の老朽化が激しく、改善化の要望があった。仰るとおり、収益性を考えると難しいものはあるが、我々としては個別に申請を受け付けるということではなく、水田と同じように地域で期成会などを作っていただき、計画を一緒にまとめてやっていく。その中で色々な手法を取り入れて受益者の負担が下がる方法もあるので、そのように進めていきたいと思っている。

町民：雨煙別の上の方でボーリングしているのは何の事業？

町長：新しい工業団地を造るために、いろいろと水質調査などしている。

町民：シャトレゼの入り口、冬期間は通れないのにずっと電気が付いているがあれはあのままでいいのか。

建設課長：あそこは確か冬期間に除雪も入らず誰も通らないが、全町共通で点けたり消したりができない。おっしゃる通り電気代が無駄になっている側面があるが、工事して直す場合費用がいくらかかるかも含めて調査したい。

町民：日赤病院の改築はやはり町民皆喜んでいて。救急体制の整った病院があるというのは本当にありがたい。それと福祉の分野について、特別支援学級の介助員（看護師）の活用実績はどのくらいあるのか教えてほしい。

教育長：今実績としては1名。岩見沢の支援センターに通っている生徒もいるので、その時その時のニーズに合わせて行政としてできることをやっていく方針でいる。

19：58 終了